

令和3年度 文京区立第六中学校 授業改善推進プラン

「学習指導要領」に示された「将来に向けて育成すべき資質・能力の三つの柱」

- ・ 基礎的な知識・技能の確実な習得
- ・ 課題解決を図るための思考力・判断力・表現力等の育成
- ・ 学びに向かう力や人間性等の育成



「文京区」が目指す「学力向上」のイメージ

【文京区「教育ビジョン」】

- ・ 個が輝き共に生きる文京の教育

【文京区「教育目標」】

- ・ 心身ともに健やかで、自他を尊重し、人間性豊かにたくましく生きる人
- ・ 自ら学び考え、表現し行動する人
- ・ 社会の一員として広い視野をもち、日本の将来を担う人
- ・ 地域を愛し、共に生きる社会を築く人

【文京区教育委員会「教育指針」に示された「確かな学力」の育成を目指す視点】

<視点1> 持続可能な社会を見据えた新しい未来の創り手の育成

- ・ 持続可能な社会を切り拓く新たな未来の創り手を育成するため、様々な教育活動の中で答えが一つではない課題に向き合うなどしながら、他者と協働しつつ創造的に生きていくための資質・能力を育みます。

<視点2> 学校教育における知・徳・体のバランスのとれた力の育成

- ・ 知・徳・体のバランスのとれた、子どもたちの「生きる力」を育むため、「確かな学力の定着」「豊かな人間性の育成」「健康・体力の増進」に向けた取組を行います。また、「保・幼・小・中の連携・接続」や「特別支援教育」を推進します。



「第六中学校」が目指す「学力向上」のイメージ

【第六中「学校教育目標」】

- ・ 責任を重んじる
- ・ 学習に励む
- ・ 健康なからだをつくる
- ・ 美しい生活を求める

【学校経営方針<学力向上に関する要点>】

<学校教育目標の実現を目指す生徒の姿>

- 目標をもって計画的に粘り強く学習に取り組む生徒

<学校教育目標の実現に向けた重点>

- 将来に生きて働く力の基礎の定着を目指して、切磋琢磨する中で互いに努力し高め合える学習環境づくり

【「確かな学力」の育成を目指す具体的な方策】

- ① 新学習指導要領の趣旨の実現を目指した授業実践に取り組むとともに、GIGA スクール構想による ICT 機器を活用した効果的、効率的な授業改善に取り組めます。
- ② 生徒の視点に立った「よく分かる授業」の実践を通して、学びに向かう意欲を高めるとともに、習熟度や個に応じた学習支援をきめ細やかにを行い、生きて働く「基礎・基本」の確実な定着を図ります。
- ③ 互いに切磋琢磨しようとする望ましい学習環境づくりに努めるとともに、言語活動や話し合い活動を活性化して協働的な学習に積極的に取り組み、未知の状況でも対応できる「思考力・判断力・表現力」の伸長を図ります。
- ④ タブレット端末の活用を含めて自律的な家庭学習の充実を図るとともに、「六中応援塾」のさらなる活用により、学ぶ機会の拡充と学んだことを主体的に生かそうとする「学びに向かう力」の育成を図ります。



第六中学校の「学力向上」に向けた全体像

【各教科の指導の重点】

- ・ 学習意欲を高める自主的、自発的な学習態度の育成
- ・ 「主体的、対話的で深い学び」の実践と工夫・改善
- ・ 「分かりやすい授業」の推進と個に応じた指導の充実
- ・ タブレット端末を活用した多様な学習活動の展開
- ・ 評価方法の改善・工夫
- ・ 各種学力調査の活用

【総合的な学習の時間の指導の重点】

- ・ 探究的な見方・考え方を働かせ、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力の育成を図る。
- ・ 様々な活動を通して主体的に自己の生き方を考え、生涯にわたって自己実現を目指そうとする姿勢を培う。
- ・ 多様な人材から生き方を学び、あきらめない心や粘り強く努力する態度の育成を図る。

【授業改善に向けた視点】

教育課程の工夫	指導内容・指導方法	評価の改善・工夫	校内研修の充実	多様な支援体制	家庭・地域との連携
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業時数の確保 ・ 教科横断的な学びの重視 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習意欲を高める指導法の工夫 ・ 協同的な学びの工夫 ・ 個に応じた指導の工夫 ・ ICT の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指導と評価の一体化 ・ 評価規準・評価計画の公表と工夫 ・ 改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習指導要領の趣旨を捉えた学びの追究 ・ 生徒理解の深化 ・ 拡充 ・ ICT を活用した具体的な授業実践 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 質問がしやすい教員の姿勢 ・ 定期的な補充教室の実施 ・ 「六中応援塾」の実施 ・ 各種検定の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ PTA と連携した懇談の場の設定 ・ 授業公開の実施 ・ 近隣小学校・園との連携 ・ 東京大学等の地域資源の活用

【【道徳教育の重点】】

- ・ 自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方を深める。
- ・ 道徳的な価値について自ら考え、行動できるようになる資質・能力の育成を図る。
- ・ 話し合い活動を通して、自他の意見を受け止め、自分の意見を修正したり深めたりする力を育む。
- ・ 道徳授業地区公開講座を通じて家庭・地域との連携を深め、地域ぐるみで心の教育の充実を図る。
- ・ 「特別の教科 道徳」の趣旨を生かした評価の充実を図り、道徳性に関わる成長を家庭と共有する。

【特別活動の重点】

- ・ 行事等を通して生徒一人一人の参画意識と所属感を高め、集団の一員としてより良い生活を築こうとする自主的・実践的な態度の育成を図る。
- ・ 自他の個性を理解し、互いに尊重しながら伸長を目指す態度を養うとともに、人としての生き方について将来的な展望をもって考えことができるようにする。
- ・ 地域社会との相互交流を図り、将来的に地域の期待に応え発展に貢献しようとする基盤を育成する。

【生活指導の重点】

- ・ 教育活動全体を通して学校・学年・学級等の一員という自覚を高め、ルールや約束事を遵守する態度と規範意識の醸成を図る。
- ・ 緊密な情報連携により生徒の心身の安定を通して安心感と充実感に満ちた学校生活の実現を図る。
- ・ 家庭との連携を基盤としながら地域・関係諸機関との連携を図り、地域ぐるみで心身共に健全な生徒の育成を図る。

【進路指導の重点】

- ・ 計画的・系統的な進路指導により、生徒が主体的に選択し、より良い自己決定ができるようにする。
- ・ 生徒一人一人の自己実現に向け、自己理解を深めるとともに、自らの能力を生かす生き方指導の充実を図る。
- ・ 地域社会との緊密な連携を図り、勤労観・職業観を育む。
- ・ 自己を見つめ、自己と社会とのかかわりを考えると同時に、自らの生き方や進路を見つめ、主体的に進路選択ができる能力の育成を図る。